



## 標的にされる子どもたち

この夏、悲惨な環境にある子どもに  
人生が変わるような体験をさせてあげましょう

### キャンプ支援！アメリカ&フィリピン

お申し込み締め切りは5月31日(火)  
詳細は同封の申込書またはこちら ⇒



**今月の引き落とし日！**

5月16日(月)です。ご確認ください！

### 今月号の目次

- P2～3…サマーキャンプのご案内
- P4～5…ビル・ウィルソン師からのウクライナ報告
- P6…日本事務所からのお知らせ

いよいよ…

# お待ちかねの キャンプ！

2年間のブランクを経て、ニューヨークの子どもたちはようやく  
キャンプに参加できることになりました。

…あなたのご協力のお陰で！

夜中に銃声で目が覚める…自分や自分の大事な人について何が起きるかという恐怖に常に怯えている…それが、ニューヨークの子どもたちの現実です。ウクライナでの戦闘をはじめ海外のニュースが大きく報じられ、この街を襲い続ける犯罪への関心は薄れていますが、私たちが支援している子どもたちの周辺は、銃乱射や刺傷事件、ギャングの暴力沙汰や脅迫、窃盗、虐待、育児放棄などがいつも溢れています。子どもたちには避難所が必要です。

だからこそ私たちは今年、これまでにないメトロ・サマーキャンプを計画しているのです。ここニューヨークの子どもたちの生活を再建するための大きな一歩となるはずです。

安全で思いやりにも包まれたキャンプの環境は神様の愛が体現された避難所でもあります。この場所で数日間過ごす機会を与えることで、子ども

の人生に変化をもたらすことができるのです。ある子どもが言っていました。「虐待の日々から解放される休息が必要なんだ。日曜学校なら数時間。キャンプなら4日間。すごい違いだよ！」

メトロキャンプのカウンセラーは、子どもたちと1対1で有意義な時間を過ごし、子どもたちの話を聞き、励まし、祈ります。ペンシルバニア州のキャンプ場では、スポーツ、カヌー、釣り、ハイキング、ゲーム、アーチェリー、水泳、アスレチックコースなどを楽しむことができます。毎晩チャペルで行われる礼拝では、子どもたちが神様からどれほど愛されているかを理解し、祈りと礼拝を通して神様の臨在に触れる方法を学ぶことができます。

あなたが子どもをキャンプに参加させるということは、キリストを信じる決断をするチャンスを与えるということです。その決断は、子どもたちにとって人生を永遠に変える最大のチャンスなのです。



この違いを考えてみてください！

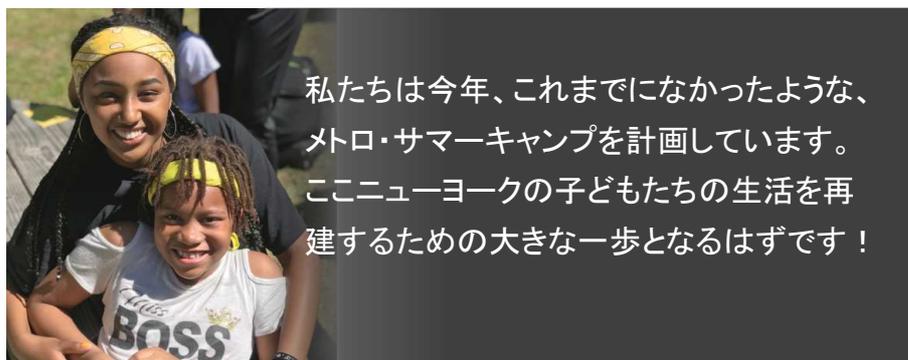
## 家では-

- ・床に置いた一枚のマットレスを、何人ものきょうだいと一緒に雑魚寝します
- ・家から一歩出ればそこはギャングの縄張りです
- ・道を渡れば敵対する別のギャングの縄張りです
- ・自衛のために、家には武器が隠してあります
- ・庭先で、人が刺されたり撃たれたりするのを目撃します
- ・ひとりで外に出かけられません
- ・夜中に銃声で目が覚めます

## キャンプでは-

- ・自分だけのベッドでのびのび寝られます
- ・外へ出ればそこは平和で静かで自然いっぱいの環境です
- ・完全に安全な環境でゆったり過ごすことができます
- ・常に背後を気にすることはありません
- ・持ち物を盗まれることもありません
- ・食べ物を取られることもありません…おかわり自由です
- ・賛美、交わり、ゲーム、水泳、ハイキング…楽しいことがいっぱい！

Summer  
CAMP  
METRO WORLD CHILD



私たちは今年、これまでになかったような、メトロ・サマーキャンプを計画しています。ここニューヨークの子どもたちの生活を再建するための大きな一歩となるはず！



キャンプ…

# クリスマスより 楽しい？

ケニア、ルーマニア、フィリピンの子どもたち  
にとって、キャンプは人生を変える経験です

世界中で、想像を絶するような状況に耐えている子どもたち。ケニア、ルーマニア、フィリピンでは、子どもたちが期待に胸を躍らせながらキャンプに参加できるのを楽しみにしています。子どもたちにとって一年でもっともワクワクする季節。クリスマスより楽しみだという子どもたちも大勢いるはずですよ。

極貧家庭で育ったフィリピンのジェフにとって、キャンプの一日はその後の人生を変えるものでした。6歳にもならないうちにジェフはお酒とタバコを覚えしました。それは自分がゲイだと自覚し始めた頃でした。8歳になる頃には女装するようになり、弟や妹のためにビスケットを持ち帰ろうとメトロの日曜学校に通い始めました。

2019年、スポンサーが費用を払ってくれ、ジェフはキャンプに参加しました。その日に経験した喜びと愛と主の臨在がジェフの人生を変えたのです。キャンプで学んだことや覚えた聖句を、ジェフは今もはっきり覚えています。

キャンプの後に訪ねたメトロスタッフにジェフは言いました。「家でどんなことがあっても、神様が僕を愛しているから大丈夫」。その後、ジェフは日曜学校の信頼できる助手として活躍するようになりました。子どもたちに教えるのが大好きだと言っています。

この夏、思いやり深いスポンサーであるあなたが、  
このような人生の変化をもたらしてくれるのです。



\*プライバシー保護のため、本人以外の名前と写真を使用しています。

## ご支援の方法

メトロのサマーキャンプは、子どもたちにとって一年で最も有意義で大きな影響を受ける機会です。その意義をご理解いただき、協力して下さるあなたのような友のお陰で、実施することができます。

- ▶ ニューヨーク  
5泊6日のキャンプで36,500円
- ▶ ニューヨークキャンプセット  
キャンプの洗面用具等は4,000円
- ▶ フィリピン  
日帰りキャンプで、11,300円

参加費には、交通費、施設使用料、宿泊費、食費、礼拝用品、工作材料等が含まれます。どのような形のご協力も、後々まで子どもたちに影響を与え、無限の変化をもたらします。

- \* ケニアの募集は、8月以降になります
- \* 詳細の確認とお申込は、同封のお申込用紙をご覧ください、左のQRコードまたは以下のサイトからお願いします。

<https://metroworldchild.jp/summer-camp/>

# ウクライナの 叫び

## 保護と復興のために あなたにできること

ウクライナに最初の爆弾が投下された、まさにその翌日、私あてに電話がかかってきました。マリウポリ近郊で障害児のための孤児院を運営しているウクライナの牧師から、非常に単純で、緊急の依頼でした。：とにかくここに来て、できることをしてほしい。

供給網は遮断され、女性や子どもたち、お年寄りは防空壕や地下鉄の駅に避難していました。病院の地下にかくまわれている、生まれたばかりの赤ちゃんたちの粉ミルクも不足して深刻な危機的状況にありました。牧師は孤児たちの命を守り、安全を確保するために必死でした。

私は3月8日に出発しました。私のチームと私は物資を持ち込み、すぐに子どもたちの救出を開始しました。孤児院の状況は非常に厳しいものでした。スタッフの多くは、すでに避難していました。食糧はもうなくなっており、すでに危険な状態に陥っていた孤児のうち3人は結局、餓死してしまいました。しかし私たちは、残りの孤児のうち14人をすぐにモルドバに避難させることができました。



彼らの苦しみを直接見ずに、現状を理解することは、ほとんど不可能でしょう。しかし、この恐ろしい状況の中にあっても、彼らを助けるために私たち全員が自分の役割を果たすことはできます。

# あなたの思いやりと祈りは、 どんな違いを生み出せるでしょうか…

ここに、ウクライナの子どもたちを守り、生活を建て直す手助けとなる、最も必要な当面の支援内容を挙げます。

## 食糧と物資：

壊滅的な荒廃と倒壊で、食糧、薬品そして日用の基本的な物資は、依然として最必需品です。私たちは、ウクライナで最も被害を受けている場所のひとつ、西部にある協力拠点への物資の調達のため、引き続き取り組んでいます。

## 救助と移転：

ウクライナにいた間、3つの孤児院から子どもたちを避難させるためにバスを借りました。しかしまだ、危険地域のたくさんの孤児院に残された人々があり、食糧や生活必需品が不足しています。私たちは小さな子どもがいる母親たちも安全な場所に避難させています。バスを借りると一度に40人の人々を避難させられますが、費用は約12万円。それに燃料を入れると1回に16万円ちかくも必要です。このようなバスによる移動は、彼らの命を守り、避難させるために最も現実的な方法です。



下記のサイトからご支援いただけます

<https://metroworldchild.jp/ukr/>



## 青年男子と父親の防護

ウクライナを走っていると、各検問所の護衛をしている若い男性を数百人ほど見かけましたが、防護服をほとんど身に着けていませんでした。オーストリアのクリスチャンビジネスマンが、私たちに防護服や銃撃戦用ヘルメットを製造者から、ほとんど原価で仕入れられるよう繋げてくれました。私たちは可能な限り、直ちにこれらが必要な若い男性に分配できるよう手配する予定です。

愛する友よ、私たちはウクライナや世界中の子どもたちの支援を続けていますが、私は誰もが何らかの方法で支援することができる、心から信じています。どうかあなたの友人、家族、教会に伝え、SNSなどでシェアしてください。私たちのパートナーシップの力によって、ウクライナの再生・再建を支援することができます！

本当にありがとう！

続く…

  
ビル・ウィルソン

  
Providing hope. Building futures.

# 日本事務所からの重要なお知らせとお願い

## ！口座残高をご確認ください！

残高不足等で引き落としができなかった場合は、次月分と合算して再引き落としさせていただいております。

再引き落とし手数料として 110 円を追加させていただきますので、ご了承ください。

確実に引き落としできるように、引き落とし日前までに口座の残高をご確認くださいませようをお願いいたします。5月の引き落とし日は、5月16日（月）です。

お引越などにより、引き落とし銀行口座の変更をご希望の場合は、手続きが必要となりますので、お手数ですが、日本事務所までご連絡をお願いいたします。

## ！子どもと皆様を守るために

ネットの普及により、個人情報の保護は想像以上に難しくなっています。子どもに手紙を送る際は、ご自分の苗字と住んでいる地域名を、記入しないようお願いいたします。

(例) × Hi ! I'm Taro Yamada. I'm live in Tokyo.

× こんにちは。山田太郎です。東京に住んでいます。

○ Hi ! I'm Taro. I'm live in Japan.

○ こんにちは。太郎です。日本に住んでいます。

必要以上の情報はネットで探し出されて悪用されることもあります。友だち申請などメトロを通さない連絡には返事をしないでください。メトロでは、長年にわたる様々な経験により、子どもとスポンサーの方々双方にとって最善の対応を心がけています。

## 手紙の翻訳について

子どもからの手紙などの翻訳を毎回ご希望の場合は、日本事務所にお知らせください。次回からは日本語か韓国語訳を同封してお送りします。

毎回翻訳をお送りすることにされた方から「子どもの状況がより詳しくわかるようになってよかった」というお喜びの声もいただいています。

また、子どもへの誕生日カードや手紙なども、日本事務所では翻訳いたしますので、日本語の手紙を以下の青枠内の日本事務所までお送りください。

手紙などももらったことのない子どもにとって、大きな喜びと励みになりますので、簡単な内容でお手紙を書いてみてください。

現在、ケニア宛の郵便物が中止されていますので、ご了承ください。

## 日本事務所よりごあいさつ！

今年は久々に、ゴールデンウィークらしい動きのある連休を楽しまれた方々も多いのではないのでしょうか。皆様が心身ともに守られますようにとお祈りしています。

日本事務所では、急激な円安で送金が非常に厳しい状況となっておりますが、皆様のご負担をできるだけ減らすように努力しています。どうか皆様も、この円安に歯止めがかけられ、皆様からの献金が有効に活かされるように円の価値が回復するようにお祈りください。

今回は、ウクライナのご報告とアメリカとフィリピンのサマーキャンプのご案内を差し上げました。極貧地域に住む子どもたちにとって、キャンプは日常から解放される、まさに夢のような時間です。できる範囲で構いませんので、どうぞご支援をお願いいたします。

皆様のご支援に心から感謝申し上げます。

日本事務所代表 万代栄嗣(まんたい えいじ)



## メトロ・ワールド・チャイルド日本事務所

所在地 〒104-0061

東京都中央区銀座 4-5-1

教文館 6 階 TFC 内

電話 03-3561-0174

FAX 089-925-1501

メール metrojapan@mission.or.jp

URL <https://metroworldchild.jp/>



すべてのお振り込みは、下記宛をお願いいたします。

ゆうちょ銀行：一六九店 当座預金 0041610

郵便局：記号番号 01650-3-41610

口座名義はどちらも同じ

メトロ・ワールド・チャイルド・ジャパン